

ともしつくる
笑顔
あふれる未来



コープしが CSRレポート 2026



コープしが CSRレポート2026

CONTENTS

理事長あいさつ 02

特集

2030年ビジョン実現に向けた取り組み
～コープしがの2025～ 03

2025年度 被爆・戦後80年 いのちたいせつの取り組み 04

コープしがのCSR 05-06

コープしがの事業紹介 07-08

2025年度活動報告

「たべる」たいせつ 09-10

「くらし」たいせつ 11-12

「ちいき」たいせつ 13-14

「びわこ」たいせつ 15-16

「いのち」たいせつ 17

県内自治体との協定・覚書 18

コープしがの組織概要

環境報告 19-20

コープしがの概要／事業所一覧 21

コープしがのグループ会社 22

編集方針

「コープしがCSRレポート」は、コープしがが果たすべき社会的責任 (Corporate Social Responsibility:CSR) と社会課題解決のために行っている取り組みを、ステークホルダーのみなさまにご理解いただくことを目的に発行しています。

2008年の発行から数えて19回目となる今回は、独自視点の「5つのたいせつ」に基づいた構成とし、コープしがの活動をより分かりやすくお伝えすることを心がけました。

コープしが理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」のもと、持続可能な社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか紹介しています。掲載は活動の一部ですがみなさまにご覧いただければ幸いです。

「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の 実現をめざして



日頃より、コープしがの事業活動にご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、2025年度に実施した社会的責任に関する取り組みをまとめた「CSRレポート2026」をお届けいたします。

生活協同組合コープしがは、「ともにつくる 笑顔あふれる未来」という理念のもと、組合員の皆様とともに歩みを重ね、くらしを支え、地域社会の発展に力を尽くしてまいりました。食の安全・安心を守る取り組みはもとより、環境保全、地域コミュニティのつながりづくり、福祉の充実、そして持続可能な社会の実現に向けた挑戦は、いずれも「誰かのくらしをより良くしたい」という願いから生まれたものです。本レポートには、そうした想いと実践の積み重ねを、一つひとつ丁寧に込めております。

2025年度は、国際協同組合年であるとともに、被爆・戦後80年という大きな節目の年でした。これまで先人たちが大切に築き上げてきた協同の歩み、そして平和な日常がいかに尊く、かけがえないものであるかを、あらためて深く胸に刻む一年となりました。同時に、私たちは「誰一人取り残さない」という決意のもと、協同の力を未来へとつないでいく責任の重さを、強く自覚いたしました。

本レポートでは、私たちの事業と活動を、「たべるたいせつ」「くらしたいせつ」「ちいきたいせつ」「びわこたいせつ」「いのちたいせつ」という5つの視点でお伝えしています。これらはすべて、組合員の皆様との協同によって生み出された大切な成果であると同時に、まだ道半ばにある課題でもあります。良いことも、足りていないことも、包み隠さずお伝えする——それが、皆様とともに歩む私たちの責任であると考えております。コープしがが、これからも地域にとって欠かすことのできない存在であり続けるために、誠実に、そして透明性をもって事業と活動を進めてまいります。

これから先も、社会は大きく変化し続けます。しかし、どのような時代にあっても、「協同の力でくらしを守り、より良い未来をつくる」という私たちの使命が変わることはありません。SDGsの視点も取り入れながら、組合員の皆様とともに歩み続け、持続可能で誰もが安心して暮らせる社会の実現に挑み続けてまいります。その歩みを支えるのは、皆様お一人おひとりの声です。本レポートが、コープしがへの理解を深めていただくとともに、新たな対話と協同の広がりにつながることを、心より願っております。これからも、ともに。

今後とも、生活協同組合コープしがの活動に、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

理事長

白石一夫

2025年度

被爆・戦後80年 いのち♡たいせつ の取り組み

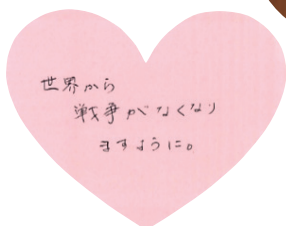
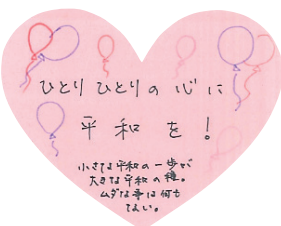
2025年度、コープしがでは“平和”のたいせつさを考える場として、さまざまな取り組みを行いました。

ピースアクション in オキナワ (3月)

実際に現地に行って、糸数塚（アブチラガマ）や平和祈念資料館などを巡り、現在の沖縄における諸問題や、これからの平和をめぐる課題について考えました。



折り鶴と平和のメッセージ募集 (6月)

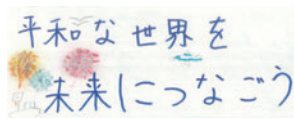


改めて考える「平和」について総代や組合員のみさんから平和へのメッセージと折り鶴を寄せられました。

子ども平和新聞プロジェクト (7~8月)

次世代を担う子どもたちが新聞づくりを通して、平和について考える企画を実施しました。

新聞記者の方から新聞の書き方を学んだり、滋賀県平和祈念館にて戦時食ボランティアの方や学芸員の方に取材をして、新聞を作成しました。



県内戦争遺跡巡り (5月)

私たちの住む滋賀県にも、戦争の傷跡が多く残っている事を実際に見て感じ、戦争を身近な事として考えました。

いのちたいせつカフェ (7月)

平和をテーマにみんなでおしゃべりして、平和の大切さに気づき、自分にできる小さなアクションにつなげることができる企画を4会場で開催しました。

参加者が作った千羽鶴はヒロシマ平和スタディツアーで原爆の子の像に奉納しました。



ヒロシマ平和スタディツアー (8月)

実際に現地に行き、原爆ドームや原爆供養塔などを巡ったり、原爆死没者慰霊式・平和祈念式典に参列しました。戦争のない社会の実現のために戦争の歴史や体験を学び、改めて平和について考える機会となりました。

原爆の子の像では、総代や組合員が想いを込めて折った千羽鶴を奉納しました。



2025年度の取り組みをきっかけとして、今後もいのちの大切さを考える取り組みをすすめていきます。

コープしがのCSR

理念

ともにつくる  あふれる未来

私たちは、くらしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、ともに考える、そのような人と人とのつながりを大切にします。

私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで笑顔あふれるくらしを創造し、次代へと継承していきます。

みんなごと

『ともにつくる笑顔あふれる未来』の実現に向けて、わたしたちが大切にしている3つのこと。みんなごとをキーワードにコープしがらしさを創造していきます。

耳を傾け向きあおう

活動へ参加しよう

役職員として体験を活かそう

コープしがとSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsのめざすものは、コープしがが理念としてめざす「ともにつくる笑顔あふれる未来」のゴールと同じです。

コープしがは、私たちが安心して暮らすために、一人ひとりの小さな「私にできるコト」が寄せ合って大きな力になる投げかけやきっかけづくりをすすめています。

また、人が大切にされ誰もが安心して笑顔で暮らせる社会をめざして、組合員、役職員、地域の人々と力を合わせていきます。

働きがいのある職場づくり

役職員は、組合員のくらしづくりに貢献する使命を持っています。各々に与えられた役割や職責を全うしていくために、コープしが職員像をもとに「コープしが職員人材育成方針」を定めています。

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気良く挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心もち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識をもち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

内部統制基本方針に基づく運営

[コンプライアンス]

コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り行動するため、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。

[リスクマネジメント]

コープしがの全業務に関わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し、リスク教育を行い、発生防止に努めています。

[個人情報保護]

個人情報保護法に基づき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。

[危機管理]

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規程や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。

生協とは

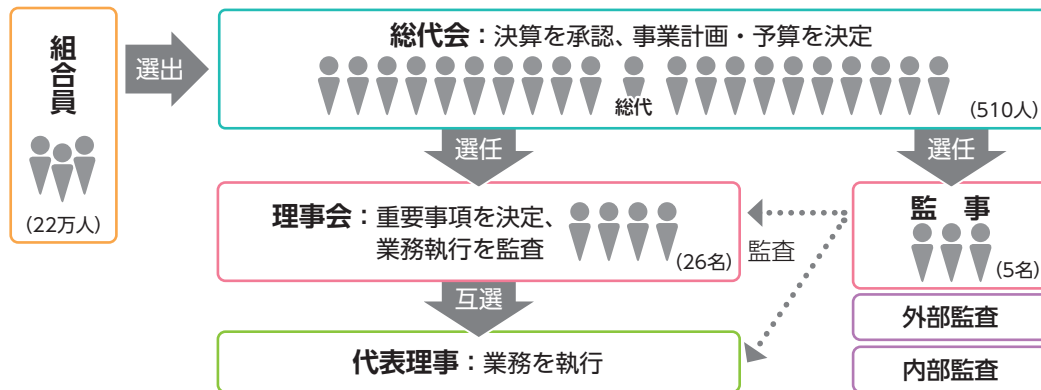
生協は「生活協同組合」の略で、数ある「協同組合」のひとつです。消費者一人ひとりがお金（出資金）を出し合い組合員となり、協同で運営・利用します。「よりよき生活と平和」をめざし、「よりよいものをより安く」「健康で豊かなくらし」という願いを実現するためにつくった自発的な「協同」「助けあい」の組織です。

出資

利用

運営

● コーポレートガバナンス



機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する**総代会**、総代会で選任された**理事会**と組合を統轄し業務執行する**代表理事**、その決定や業務執行を監視する**監事**で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。



総代会

生協の最高意思決定機関です。組合員の代表である「総代」が参加し、「昨年度の取り組みが、組合員の意思に沿って行われたか」「今年度の取り組みが組合員のくらしに貢献できるか」を判断し議決します。また、定款・規約の改定、役員の選出も総代会で行います。組合員が運営し、議決権を持つのも組合員である「総代」だけです。



📍 2025年度の機関運営

2025年度の機関運営は、会議の場に「つどうこと」、「話し合うこと」(会って話すこと)を大切にすすめました。また、参加しやすい環境づくりとしてオンライン会議や休日の開催を実施したことで、前年より多くの総代が参加し、活発な意見交換が行われました。



機関会議の様子

🗣️ 総代会関連会議に参加された総代の声 (アンケートより)

- 利用するだけでは知らなかった生協の取り組みをたくさん知ることができました。
- 会議に参加すると、よりコープの良さがわかって、さらに買い物をしたくなります。



コープしがの事業紹介

生協の役割は、組合員の「暮らしを良くする」こと。
 事業を通して組合員の想いや願いを実現できるよう、組合員の声を受け止めています。
 生協の商品やサービスの一つひとつが組合員の声から生まれ改善されていきます。

宅配事業 安全・安心の商品を便利にお届けします。

宅配は県下9か所の宅配事業センターから、毎週約10万人の組合員に安全・安心の商品をお届けしています。子育て世帯、高齢者、お勤めで忙しい組合員の暮らしをさまざまな商品やサービスで応援しています。コープしがでは、決まった担当者が、毎週決まった曜日・時間に、組合員に商品をお届けすることを通じて、見守りなどのお役立ちができると考えています。

- 2025年度新規加入者数（宅配）：6,846人



店舗事業 新鮮な商品と品揃えの良さにこだわっています。

コープしがのお店は、「おいしさ」「楽しさ」「あったかさ」をコンセプトに、組合員の声に応え、毎日の暮らしと食を応援しています。ぜひ店・もりやま店・かたた店・ながはま店の4店舗で、買い物に困っている方の支援（P12に記載）なども行い、地域で一番やさしいお店をめざしています。

- 2025年度新規加入者数（店舗）：2,113人



利用者の声

- 店内がいつも清潔で、店員さんの丁寧な接客で迎えていただき、心地よく買い物かできています。

移動店舗「あったか便」

コープしがでは、高齢者を中心とした日常のお買い物に困っている方々を支援する目的で、移動店舗「あったか便」を運行し、コープのお店の商品を専用車両で販売しています。また、移動店舗を通じて、地域でのコミュニティづくりや見守り活動にもつながっています。

- 2023年4月から運行
長浜市余呉町全域・長浜市上草野地域
- 2024年2月下旬から運行
長浜市西黒田地区・長浜市神田地区・長浜市田根地区



夕食サポート事業

笑顔の食卓をサポートします。



夕食宅配「つながり」は、高齢者、一人暮らし、共働き、育児などで毎日の夕食づくりに困っておられる方を夕食のお弁当宅配を通じてサポートします。組合員の声に応えて、2025年11月から昼食弁当おかずのお届けを開始しました。これからも、楽しく健康的な食生活を応援していきます。

利用者の声

- 仕事で家に帰るのが遅くなることが多く、自炊ができずに悩んでいました。夕食サポートを利用することで、家にご飯がある安心感があり、バランスの良い夕食を食べられて満足しています。

共済事業

組合員のくらしの安心を広げるCO・OP共済

CO・OP共済は「自分の掛け金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いです。手頃な掛け金でしっかりと組合員の家族みんなの保障となるよう、CO・OP共済は組合員の声で充実していきます。

お誕生日には「おかわりございませんか」の手紙を届けて、「請求忘れゼロ」をめざしています。

- 2026年3月現在契約件数：116,663件

ありがとうの声（共済金支払い時アンケートより）

- 手頃な掛金で入れるので家計が助かります。担当者の方も丁寧に説明してくれて、宅配時にその場で契約手続きができました。

エネルギー事業（コープでんき）

みらいのエネルギー社会につながる電気をお届けします。

コープでんきは、エネルギー社会のみらいを考え、再生可能エネルギーの促進やCO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいます。コープとともにするくらしの1つとして、身近に感じ何かあった際にも安心して利用していただけるようすすめています。

- 2025年度契約件数：4,877件



冬の節電アイデアにて寄せられた組合員の声

- 我が家では窓と網戸の間にプラスチック段ボールを立てています。プラスチック段ボールは薄い白色のもので、日差しは取り入れられ、冷気は防げるので、寒さ対策になっています。

介護事業

コープしがは、福祉を「一人ひとりの人が社会的つながりの中で、その人らしさをもって幸せに生きること」ととらえ、組合員、地域の方々とともに「くらしを創造する福祉」をめざしています。

■ ケアプランセンターぽこ野洲（居宅介護支援）

住み慣れた地域で、いきいきとしたくらしを支える居宅介護支援

■ ヘルパーステーションぽこ野洲

（訪問介護・障がい福祉サービス（居宅介護）・介護保険外サービス）

■ ヘルパーステーションぽこ守山（訪問介護・介護保険外サービス）

その人らしいくらしを守る訪問介護

「ぽこ」は2013年組合員から公募し、「ポコ・ア・ポコ=少しずつ、一歩ずつ」という意味を込めて名付けました。

- 2025年度 のべ 利用者数：21,851人





たべる たいせつ

たべることは生きること。
私たちにとって食べものはとても大切なもの。
食べものはすべて生きものであり、
その命をもらって私たちは生きています。
私たちは感謝する心を大切にしていきます。



▶ 商品大交流会 (2026/2/21)

びわ湖大津プリンスホテル（大津市）で開催しました。定員を大きく上回る応募があり1,066名が参加しました。会場では試食・交流・即売が行われ、たくさんの家族連れやグループで賑わいました。



③ 参加者の声

- 試食ができて、これから注文する商品の幅が広がりました。生産者さんとの会話もできてさらにファンになりました。

▶ ぱくぱく商品知ってね！交流フェス

組合員と生産者、職員が商品の良さを知り、食を中心に交流することで地域の人々を笑顔にすることを目的に県内14か所で開催し、合計845名の参加がありました。

参加者の募集と同時に、当日のお手伝いも組合員から募集し、生産者・メーカーのみなさんと一緒に商品の良さを伝えてもらいました。会場では、フードBOXを設置し、フードドライブの声かけも行いました。



③ 参加者の声

- 直接商品のお話が聞けるって贅沢！今後の購入を検討するきっかけになりました。
- 知らなかった商品を直接生産者さん、メーカーさんに聞きながら試すことが出来て良かった。

▶ ファーマーチャレンジ「援農隊」

人手不足など深刻な状況にある生産者をお手伝いして支援する取り組みです。組合員と役職員がコープしがの子会社、「ハートコープしが」の圃場でビニールハウスの中の石拾い、苗植え、雑草取り、収穫作業をお手伝いしました。年間、4回呼びかけを行いました。



▶ オータムキャンプ in 鳥取 (2025/10/4~5)

鳥取県でのオータムキャンプを開催し、親子35名が参加しました。美歎(みたに)牧場の自然の中で、産直生産者の大山乳業、鳥取県畜産農協の方々と一緒に鳥取県のお肉や乳製品を味わいながら、交流をしました。食べて・笑って・歌って・学んで、楽しい思い出となりました。

👂 参加者の声

- 日々の食卓に並ぶ牛乳やお肉がどこから来ているのか、どう生産されているのかを知る貴重な体験ができました。



キャンプファイヤー



バーベキュー

▶ 楽しく歩こう！健康ウォーク (2025/11/16)

組合員の関心が高まっている「健康づくり」への後押しとなるよう、びわこ成蹊スポーツ大学と協力して健康イベントを開催し、184人が参加しました。大学生が考案したルートへのウォーキングだけでなく、大学教授から健康づくりにつながる講座、ぱくぱく商品知ってね！交流フェスも実施し、食・健康を考える機会となりました。

👂 組合員の声

- きれいな景色の中を歩いて気分転換ができました。役立つお話を聞けて楽しくウォーキングができました。食事と体を動かすことを心がけていきます。



ウォーキングの様子

▶ 大人のたべる*たいせつオンライン企画 「地酒と湖魚を楽しむタベ」(2026/2/28)

食を通じてびわ湖を取り巻く環境や営みについて考える場となるよう、昨年に引き続き大人向けの企画としてオンラインで開催し、19組24名が参加しました。参加者には、ほろよいセットとして魚のゆりかご水田米こしひかりでつくったお酒と、滋賀の郷土食「鮒ずし」を事前にお届けし、魚のゆりかご水田や地酒のお話を聞きながら、楽しく交流しました。

👂 参加者の声

- びわ湖の循環や恵みを体感できる素晴らしい企画でした。ゆりかご水田の取り組みは次世代へと繋いでいくべきだと思います。子どもや友人に伝えて話題にします！



オンライン配信の様子

▶ 滋賀県立大学「食育推進隊」によるレシピ考案

地産地消推進協議会は、若い世代に地産地消の大切さを伝え、体験を通して、食への理解を深めることを推進しています。滋賀県立大学「食育推進隊」と滋賀県立大学生協食堂のご協力のもと、県内産食材を使ったメニューを考案し、県立大学生協食堂で提供しました。



メニューを考案した食育推進隊のみなさん



考案したレシピ



くらし たいせつ

ふつうに生活できている今に感謝し、
何気ない毎日を大切に。くらし。
私たちはくらしの願いの実現に向けて、
「私にできること」をすすめます。



▶ 能登半島地震への継続した支援

2024年1月の能登半島地震、9月の豪雨災害により被災されたコープいしかわの組合員・地域住民のみなさんの疲れを癒し、人と人とがつながれるよう日本生協連は全国の生協に「つな♡のと旅企画」を呼びかけました。この企画を活用し、11月15日から16日にかけて、石川のみなさんを滋賀県(コープの森 多賀、彦根市、長浜市など)に招待し、コープしがの組合員や役職員と交流を行いました。

また、4月からは、日常で参加できる支援の取り組みとして、「能登を笑顔に！応援募金」を毎月実施しました。



「つな♡のと旅企画」でのバーベキューの様子

▶ 災害体験から学ぶ

くらしの備えを考えよう (2026/3/21)

コープしがでは、震災を忘れない取り組みとして「知ること」「知らせること」「つながること」「応援すること」に取り組んでいます。2025年度は、語り部の方をお迎えし、当時の体験や想いなどのお話を聞きました。参加者それぞれが日々の生活があたり前でないこと、命のたいせつさについて考えるきっかけとなりました。

🗣️ 参加者の声

- 今あるくらしの尊さ、命の大切さについて改めて考える貴重な時間になりました。今日お話を聞いて感じたことを私自身も語り継いでいきたいと感じました。

▶ 親子で防災

家族で防災・減災に対するくらしの備えがすすめられるよう取り組みました。県内4か所で小学生とその保護者を対象に親子と一緒に「防災」の基本を学ぶことができました。



防災基礎講座の様子

🗣️ 参加者の声

- 子どもにとって災害は、実際に経験したことがないため、実感しにくい部分もありますが、わかりやすく楽しく防災について学ぶことができました。

▶ みんなで取り組んだ募金など

ユニセフ・一般募金 内、1,956,545円マンマー指定募金	3,769,102円
能登を笑顔に！応援募金	759,268円
大分県大分市佐賀関大規模火災支援募金	2,489,965円
平和募金	1,652,137円
ハンガーフリーワールド(書き損じはがき回収キャンペーン)	4,231,921円

▶ 組合員による商品の利用を通じた応援募金

しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金	1,885,381円
利用登録米の利用による「滋賀応援寄付」(1kg当たり1円)	430,002円
珊瑚再生もずく基金(1パック当たり1円)	293,251円
沖島のやさしいアイス利用寄付(1点につき10円を沖島小学校に寄付)	6,150円

●全国の生協とともに取り組む募金(コープしが分)

CO・OPレッドカップキャンペーン(1点当たり1円)	69,771円
CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト(1パック1円)	30,836円
CO・OPスマイルグリーンプロジェクト(1点当たり1円)	122,079円
CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン(1点当たり0.5円)	26,596円
CO・OP化粧品ピンクリボン運動(1点当たり1円)	13,555円

▶ お店でのお買い物をサポートする仕組み

●お買い物サポートカー

お買い物が不便な方を対象に、ご自宅からお店まで無料で送迎するサービス



●お買い物代行

電話でご注文された商品を、ご自宅にお届けするサービス



●お買い上げ配達

お店でお買い物された商品を、その日の夕方までにご自宅へお届けするサービス

●移動店舗「あったか便」

※P7に記載

▶ 珊瑚再生もずく基金

沖縄県恩納村で行われる産直もずく利用によるサンゴ募金の合同贈呈式に毎年参加しています。この募金は、「産直もずく」を生協で利用することで、利用金額の一部が沖縄県の恩納村漁協協同組合へ寄付される仕組みです。寄付金は、美しく豊かな沖縄の海をつくるサンゴの再生に活かされています。また、今年は産直の取り組みとして役職員を対象としたサンゴ学習会を実施しました。



サンゴ学習会の様子

▶ はじまるばこ

コープしがでは、滋賀県にお住まいの、1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭を対象に、便利な育児サポート商品の詰め合わせ「はじまるばこ」を無料でプレゼントしています。



ありがとうの贈りもの

滋賀県がすすめる「滋賀で誕生ありがとう事業」の取り組みの1つで、コープしがも協賛し、申込窓口・お届けを担っています。





ちいき たいせつ

「ふだんのくらしのしあわせ」を実感したい。
 私たちは、人々のささえあい・助け合いの活動を
 すすめ、みんなが幸せになることをめざします。



▶ 子育ての見守り

自治体から業務委託を受けて、1歳未満の赤ちゃんがいるご家庭に、毎月おむつなどを届けています。子育て経験のある専任スタッフが、子どもやお母さんの健康状態の確認・悩み事の相談など、孤独になりがちな子育て中のお母さんを支援しています。

東近江市「見守りおむつ宅配便」/甲良町「見守りおむつおとどけ便」/甲賀市「こうか・おむつ便」/近江八幡市「おむつおとどけみまもり便」/高島市「おむつおとどけみまもり便」を受託しています。



お届けの様子



東近江市「見守りおむつ宅配便」専用車両

③ ご利用者の声（アンケートより）

- おむつを届けていただくことで、子育てを応援してもらっていると感じられ、安心感や支えになっています。日常の負担軽減にもつながり、とても助かっています。

▶ 自治ステーション

買い物が不自由な地域の方や居場所の活性化にお役立ちするために、宅配の商品を受け取るステーション機能を活用して、その場所が地域の「集う場」となるきっかけになるように地域の方々とともに開設を進めています。現在、長浜市、守山市、米原市に3つのステーションがあります。



▶ できるコトづくり制度による助成と支援

2018年に創設された「できるコトづくり制度」は、「想いや願い」を持った団体が新たな一歩を踏み出すための「学びの場（できるコトづくり講座）」の提供と、その「想いや願い」を実現させるために必要な「資金助成（できるコトづくり助成）」からなっています。2025年度は「はじめて助成」8団体、「活動助成」8団体に助成を行いました。※継続申請含む

2025年度「はじめて助成」1年目の助成団体「戦争を語り継ぐ会」のみなさんは、戦争の体験談を多くの人たちに伝え、平和の大切さを語り継ぐ活動をされています。メンバーのひとりが自身の終戦までの体験を語り伝え、戦争と平和について学ぶことができる場となっています。



「戦争を語り継ぐ会」公演の様子

▶ 組合員どうしの助け合い 「ささえあいサポート」

ささえあいサポートはくらしのこまりごとを組合員どうしで助け合う活動です。お手伝いするのは、組合員とその家族のみなさんです。地域ごとに組合員で構成するコーディネーター会が依頼受付やサポーター手配など、運営を担っています。

●2025年度ささえあいサポート利用件数：3,526件



🗣️ ご利用者の声

●ケガをして大きな荷物が運べず困っていたところ、組合員担当の方からささえあいサポートを教えてくださいただき初めて依頼しました。とても助かりました。

🗣️ サポーターの声

●サポートが終わると疲れますが、利用者の「ありがとう」という言葉で嬉しくなり、元気をもらえて、やりがいを感じます。コープでこういう機会があるのは嬉しく思います。

▶ 認知症学習会

誰もが安心して、その人らしいくらしを続けていくことができるよう認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解できることを目的に、実施しています。全職員がサポーターとなれるよう受講をすすめています。



▶ キッチンカー健康教室

食を支えるコープしがが「地域での健康づくり」のお役立ちとして行っている出前型の健康教室です（無料）。

赤いキッチンカーで滋賀県内の高齢者サロンや老人クラブ、子育てサークルなどに伺い、クイズを交えながら健康のお話やレシピを紹介しています。

●2025年度開催回数：109回



健康教室の様子



キッチンカー

▶ 子ども虐待防止「オレンジリボンキャンペーン」

滋賀県では、11月のオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンを中心に、子どもを虐待から守るメッセージリボンである「オレンジリボン」による広報啓発を行い、児童虐待について考えるきっかけとしています。

コープしがもこの趣旨に賛同し、事業所のポスター掲示や、職員や従業員がこのキャンペーンについて学び、オレンジリボンを着用しています。





びわこ たいせつ

滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。
周囲の緑豊かな山々や田園風景は、
私たちの暮らしにやすらぎを与えてくれます。
コープしがではふれあう体験の場を通じて
びわ湖や自然を大切にすることを育んでいきます。



▶ びわ湖清掃ウォーク 2025

(2025/9/27)

“びわ湖を大切にすること”を育む活動の一環として、毎年9月に清掃ウォークを実施しています。16回目となる今年、大津市由美浜のサンシャインビーチ周辺で「清掃ウォーク」を開催しました。約300人の組合員・役職員が湖岸の清掃を行った後、地元の学校の吹奏楽部による演奏や、びわ湖や滋賀県に関するクイズ大会を楽しみました。



🗣️ 参加者の声

- びわ湖の現状が知れたこと、ゲーム感覚でびわ湖の知識が増えることが良かったです。
- たくさんの組合員と一緒に活動出来る、貴重な機会です。びわ湖岸を歩き、南湖の様子を身近に感じる事が出来ました。
- 子どもたちと一緒にびわ湖のことを知り、環境のことを考えるきっかけにしたいと思い、参加しました。
- ウォーキングしながら地域活動に参加出来ることに興味を持ちました。ウォーキングが好きでびわ湖の周りを歩く事も多いので、ゴミ袋1枚持ってウォーキングするのもいいなと感じました。

▶ ヨシでびわ湖を守る取り組み

(2026/2/9)

近江八幡市にある西の湖でのヨシ刈りボランティアにコープしが職員も参加しました。コープしがは、ヨシを通した環境活動に賛同し、「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のパートナー企業に登録して地域の環境貢献活動に参加しています。ヨシを刈り、活用することが、びわ湖の水環境や生態系を守ることに繋がっています。



▶ CO₂削減の取り組み

家庭で使う照明を消してCO₂の削減や地球温暖化について考える、夏のライトダウンキャンペーンには32組、冬のエコライフキャンペーンには52組の組合員が参加し、エアコンの温度設定の変更、照明器具の消灯、家電製品の使用方法の見直し、水の使い方など日々の暮らしの小さな積み重ねを大切にするエコライフにチャレンジしました。また、組合員から節電アイデアを募集しました。



コープもりやま店でのライトダウンの様子

🗣️ 参加者の声

- 今まで環境について考えたことがなかったのですが、今回取り組んだことで、自分にも簡単にできることがあるとわかりました。

💡 節電アイデア

- 家族一緒に部屋で過ごし、冷暖房費を節約。
- 近所の買い物等は徒歩で行き、車に乗る回数を減らす。
- ゴミを出さないためにできるだけリサイクル製品を使う。

▶ 自然と遊ぼう & 木こり体験 (2025/11/22)

森の中での体験や交流を通じて、自然を大切にする心を育てることをめざして開催しました。当日は自然と仲良くなるプログラム「ネイチャーゲーム」や木こり体験を実施しました。

🗣️ 参加者の声

- 森とびわ湖のつながりを知ることができたり、伐採されたヒノキの枝を切ったり皮を剥いたり普段できない経験をできたのがとても良かったです。



のこぎりを使った枝切り体験の様子

▶ コープの森 森林整備ボランティア (2025/4/12)

コープの森多賀で初めてとなる森林づくりボランティアを開催し、間伐作業のお手伝いや山の働きについての学びをすすめました。森林を守っていくことの大変さを参加者全員が学ぶことができました。
※秋のコープの森あがらひでの開催は、県内でクマの目撃情報があり中止。



間伐作業の様子

▶ しがのふるさと支え合いプロジェクト

滋賀県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定を活用して、高島市マキノ町知内の自然環境で田植え・稲刈り体験、「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会、お米のお渡し交流会を実施しました。この取り組みにより地域の活性化や交流が生まれています。

※「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、多様な住民や地域活動団体との協働による持続可能な農村づくりの取り組みです。



田植え体験



「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会



お米のお渡し交流会



いのち たいせつ

コープしがは、平和な社会の実現をめざして、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心できるくらしづくりを進める場を広げていきます。



▶ 子ども平和新聞プロジェクト

(2025/7/21・8/11・8/23)

被爆・戦後80年、被爆・戦争の体験者は高齢化がすすみ、直に証言を聴く事も難しくなりつつある現在、次世代を担う子どもたちがプロジェクトメンバーとして参加し、新聞づくりを通して、平和について深く考えるきっかけになりました。3日間のプログラムの中で、記者の方から新聞の作り方について学んだり、平和祈念館で戦時食ボランティアの方々取材をしました。



新聞作成の様子

③ 参加者の声

- 昔にあったできごとがわかったり戦時食についてたくさん知ったり、すごく勉強になりました。(お子さん)
- 子どもは参加してから、戦争について家族で話したりニュースを見たりしています。平和祈念館で気に入った絵本を家で読んだり戦争と平和が身近なものになった気がします。(大人)

▶ 県内戦争遺跡巡り (2025/5/31)

「平和」や「戦争」を身近な問題として捉えることを目的として開催しました。県内にある戦争遺跡の見学やお話をお聞きして、平和について考える機会となりました。



八日市掩体壕(東近江市) 見学の様子

③ 参加者の声

- 戦争について学ぶことは現代を生きる私たちに大切なことだと思うし、戦争遺跡を残して伝えていくことは我々の役目だと思います。
- 滋賀県にも陸軍飛行場があり、多くの人々が配備されていたことがわかりました。

▶ 「平和募金」の取り組み

コープしがでは、助けあいの精神を大切にする生協として、県内外のいのち*たいせつ活動などへの活動参加費用を、募金から充当しています。これは、参加者だけに費用負担してもらおうのではなく、“私たちが少しずつ費用を出し合って、私たちの代表として参加してもらいたい”と応援する気持ちを寄せる平和募金として取り組んでいます。

- 2025年度募金金額：1,652,137円
(2024年度までの繰越額含む)

県内自治体との協定・覚書

コープしがは、理念「ともにつくる 笑顔あふれる未来」の実現に向けて、ともにくらしづくりをすすめるためのつながりの強化をめざし、滋賀県内市町の首長訪問と市町との協定締結をすすめています。

現在、以下の自治体と見守りや災害時の協力に関する協定・覚書を結んでいます。

●県内自治体との協定・覚書一覧

市町名	協定・覚書の名称
大津市	包括連携に関する協定 など
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定 など
長浜市	地域コミュニティ活性化に関する連携協定 など
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定 など
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定
守山市	包括連携に関する協定 など
栗東市	災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定
甲賀市	包括連携に関する協定
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定 など
湖南市	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定 など
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書 など
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書
竜王町	まちづくりに関する包括連携協定
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定 など
豊郷町	まちづくりに関する包括連携協定
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定
多賀町	まちづくりに関する包括連携協定 など
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定書 など

大津市との「包括連携に関する協定」では、連携事項に「農業振興に関すること」があります。龍谷大学農学部と協力して大津市の農産物を使ったレシピ開発に取り組みました。



プロジェクトに参加した龍谷大学農学部のみなさん



選考会で最優秀に選ばれたグループのレシピ「クロキッシュ」

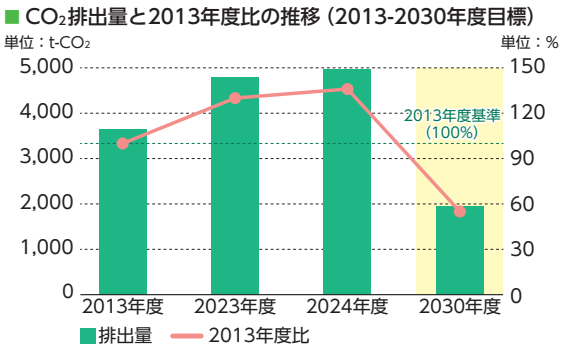
くらしは見守り・災害時の協力と限定されるものではなく、食や健康など多岐にわたるため、コープしがでは、お役立ちの可能性を広げるためにも包括連携協定をすすめていきたいと考えています。

コープしがは、一人ひとりの参画による力と組織や団体の連携を通じて持続可能な社会づくりに取り組みます。

事業における環境報告

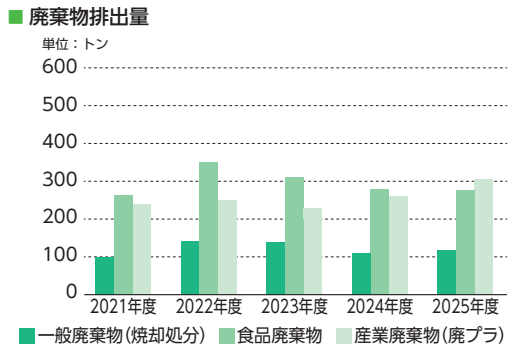
コープしがは、「環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全、廃棄物の削減などの取り組みをすすめています。「環境マネジメントのシステム」を独自運用して環境管理に取り組んでいます。

【CO₂排出量の削減の取り組み】



コープしがの事業から排出されるCO₂排出量は2024年度は4,989トンとなり前年比104.0%、2013年度比137.1%となりました。
※全体のCO₂排出量から、滋賀県森林CO₂吸収量認定制度（コープの森あがらひの森林整備が対象）の認定量など約173tを相殺しています。

【事業活動による廃棄物の削減】



事業系の一般廃棄物は、食品返品削減の取組みを始めた2024年度に対して前年比102.5%となりました。食品廃棄物は、店舗の商品製造計画の適正化などにより、前年比97.5%となりました。廃プラは宅配で削減がすすみましたが、店舗で増加したことにより全体として前年比114.6%と増加しました。

コープしがの取り組み

脱炭素社会の実現に向けて コープしが「CO₂排出量46%削減」へのアクション

コープしがは、持続可能な社会の実現へ向けた責任ある取り組みとして、事業活動に伴うCO₂排出量46%削減を目標に掲げています。その達成に向け、私たちは「減らす」「創る」「換える」の3つのアプローチを推進しています。



【減らす】森林保全を通じたCO₂吸収源の確保

「コープの森」の森林づくりを通じて、森を元気にする取り組みをすすめています。森を元気にすることは、本来のCO₂を吸収する力を取り戻すことにつながります。組合員とともに育む「コープの森」は、今ではコープしがが排出するCO₂の約4.5%（2024年度比）を深呼吸するように吸収してくれています。

【創る】太陽光発電による創エネの推進

太陽光発電で創った自然エネルギーを有効活用しています。今ではコープしがの電気使用量の約10%を自ら創り出したクリーンエネルギーでまかっています。

【換える】再生可能エネルギーへの転換

事業所で使用する電気を、再生可能エネルギー由来の電気へ順次切り替えています。2025年度には「コープもりやま店」「コープかた店」で再エネ電気を導入して、CO₂排出量実質ゼロを達成しました。

コープの森の間伐材を有効活用しています

木材資源の有効活用を目的として、コープの森多賀の間伐材を使用した名刺台紙や印刷用紙を使用しています。



コープしがの環境への取り組みを発信しています

コープしがホームページの「コープしがのサステナビリティ」ページにてリサイクルリーフレットと連携した情報発信をすすめています。



コープしがのサステナビリティ（環境）

組合員の取り組み

環境に配慮した商品の普及実績

環境マーク	供給高(前年比)	供給点数(前年比)
エコマーク 	589,111,419円(99.4%)	1,603,543点(88.2%)
FSC® 	2,285,591,814円(104.3%)	4,344,013点(100.9%)
MSC 	127,718,018円(82.8%)	320,289点(77.2%)
ASC 	2,312,468円(112.3%)	3,151点(113.0%)
MEL 	184,671,504円(97.8%)	323,539点(89.4%)
有機JASマーク 	40,069,817円(98.6%)	145,107点(84.1%)
特別栽培農産物 	68,474,364円(89.5%)	145,576点(56.4%)
レインフォレスト・アライアンス 	50,762,632円(59.3%)	94,230点(39.6%)
洗剤環境寄付キャンペーン 	42,980,170円(104.1%)	53,192点(104.6%)
RSPO 	116,084,045円(106.2%)	691,317点(107.9%)
スラウェシ島 エビ養殖改善協力金 	50,546,512円(87.8%)	50,010点(90.8%)

循環型社会をめざして

リサイクル回収実績 (2025年4月～2026年3月)

宅配回収物 ()は前年比

商品案内書

年度累計 **2,575,200kg**
(98.1%)

回収率 63.1%(前年-0.9%)



商品仕分け袋

年度累計 **29,789.5kg**
(99.4%)

回収率 27.5%(前年+1.0%)



●2025年度リサイクル売却実績

5,130万円

宅配・店舗回収物 ()は前年比

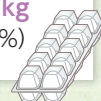
牛乳パック

年度累計 **52,010kg**
(96.7%)



たまごパック

年度累計 **20,200kg**
(101.2%)



店舗回収物 ()は前年比

ペットボトル

年度累計 **40,281.4kg**
(97.9%)

生協で回収したペットボトルをCO-OP商品の包材にリサイクルしています。



ペットボトルキャップ

年度累計 **2,411kg**
(93.3%)



食品トレー

年度累計 **8,811.5kg**
(92.0%)



※回収した牛乳パックの一部は、ただいまロールやおかえりティッシュにリサイクルされています。



古紙・段ボール

年度累計 **357,522kg**



アルミ缶

年度累計 **1,010,739本**



※コープしがの店舗でスプーンやフォークなどのカトラリー製品を販売した収益の全額は、「びわ湖清掃ウォーク」の費用として活用しています。
2025年度活用金額：6,992円

リサイクル可能な資源・リサイクルの流れをまとめたリーフレットを作り、リサイクルを呼びかけています。



リサイクルについて詳しくはこちら

コープのお店に設置しているリサイクルステーションでは、アルミ缶・古紙・段ボールを回収して、リサイクルしています。



コープしがの概要

(2026年3月20日現在)

名称 生活協同組合コープしが

設立 1993年3月21日
滋賀県内4生協が合併して発足。(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)

本部 滋賀県野洲市富波甲972番地 TEL 077-586-1112 (代表)

代表理事 (理事長) 白石 一夫 (専務理事) 高橋 剛太

組合員数 22万8,166人

加入率 37.4% (= $\frac{2026年3月20日現在の滋賀県在住の組合員数}{2026年3月1日現在の県統計世帯数}$)

出資金 140億7,075万円

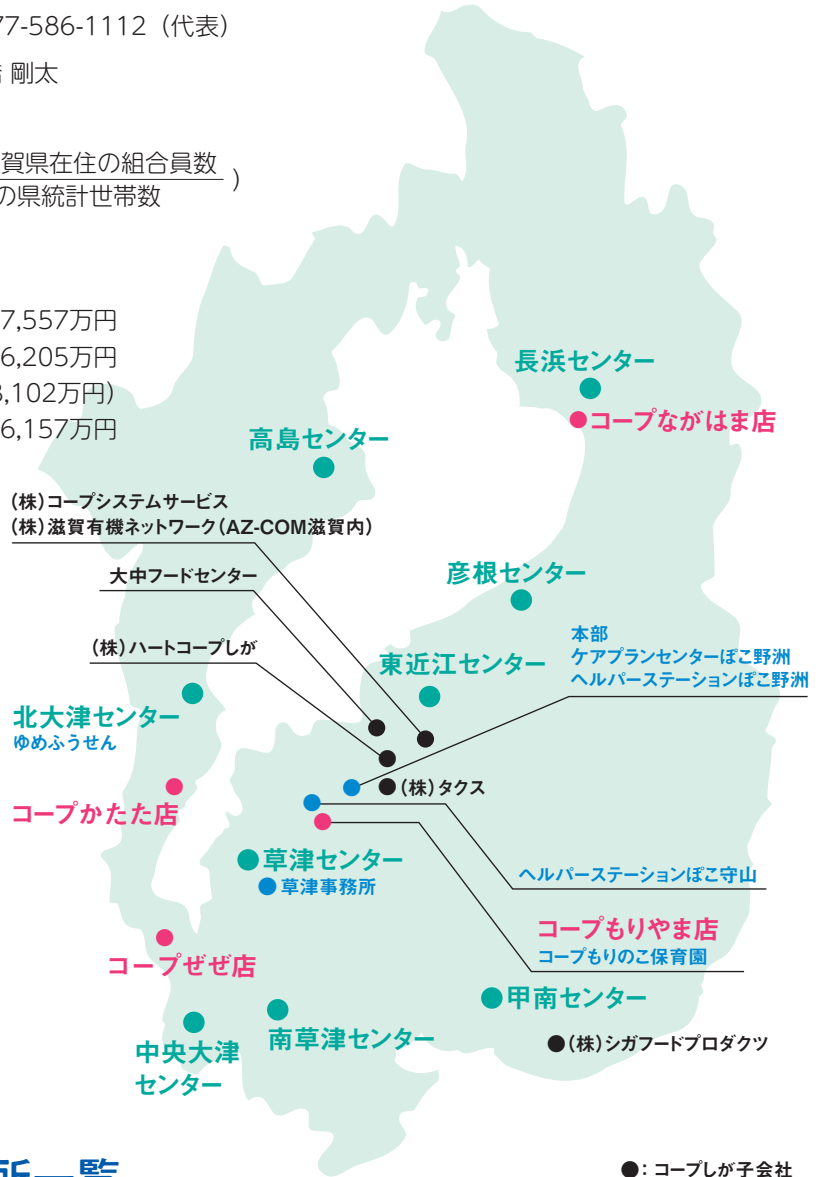
供給高 400億9,920万円
(内訳) 宅配事業 305億7,557万円
店舗事業 89億6,205万円
(内、移動店舗 3,102万円)
夕食サポート事業 5億6,157万円

職員数

総合スタッフ	307人
エリアスタッフ	127人
シニアスタッフ	44人
嘱託スタッフ	36人
専属スタッフ	13人
福祉専任スタッフ	8人
登録ヘルパー	21人
定時・アルバイトスタッフ	1,019人

「供給高」とは

生協では、組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業であることから、「売上高」ではなく「供給高」という言葉を使用しています。



コープしがの事業所・事務所一覧

●: コープしが子会社

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲972
ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアプランセンターぼこ野洲	野洲市富波甲972
ヘルパーステーションぼこ野洲	野洲市富波甲972
コープもりのこ保育園	守山市勝部3丁目14-27
ヘルパーステーションぼこ守山	守山市守山4丁目7-20 辻田ビル1階

店舗

コープぜぜ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30

コープかたた店	大津市衣川1丁目17-1
コープながはま店	長浜市宮司町1200

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北大津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町可摺281-1
中央大津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6
東近江センター	東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町四反地224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

コープしがのグループ会社



株式会社シガフードプロダクツ

所在地：甲賀市甲南町寺庄330

事業内容：食肉加工およびパック加工済み商品・畜肉加工品の販売

設立の目的：生肉の生産、流通および加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給するため



株式会社タクス

所在地：野洲市富波甲972

事業内容：保険代理店業、不動産事業、旅行事業

設立の目的：組合員の暮らし全般をサポートするため、生協では扱えない事業分野での事業展開を図るため



株式会社コープシステムサービス

<本社・農産青果加工センター>

所在地：近江八幡市長光寺町瓶割山951-4 (AZ-COMロジスティクス滋賀内)

事業内容：産地パックの全量点検、原料加工業務、店舗輸送元請け業務、チケット仕分け転送業務、物品販売（事務用品・コピー用紙）、帳合業務

設立の目的：流通に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行およびコープしがの物流費をコントロールするため

<大中フードセンター>

所在地：近江八幡市大中町565番地1

事業内容：弁当・惣菜の製造、冷凍保冷剤管理業務受託作業、農産物点検加工業務



株式会社ハートコープしが

所在地：野洲市富波甲963-1

事業内容：農産物の生産・加工・販売、宅配商品通い箱等の洗浄作業受託、食品循環資源等の再生利用作業受託

設立の目的：障がいのある方々の「働きたい」願いや自立の手助けの場を提供し、食品リサイクルループを構築するため



株式会社滋賀有機ネットワーク

所在地：近江八幡市長光寺町瓶割山951-4
(AZ-COMロジスティクス滋賀内)

事業内容：農産物、農産加工品の販売

設立の目的：県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と、農産物の物流拠点を確立するため



「しが生物多様性認証制度」で、
2025年度最高評価の「3つ星+加点3」の
認証を獲得しています。

コープしがへの期待と受け止め、これからもSDGsに基づく事業と活動を組合員のみなさんとともにすすめていきます。



公式ホームページ



公式 Instagram



公式 Facebook



公式 YouTube



公式 LINE



コープしがキャラクター
ぱくぱくくん



生活協同組合コープしが

<https://www.pak2.com/>

「スパイラル」はコープしがのシンボルマーク。

巻貝・波紋・風などの自然を象徴し、

さらに求心と拡大、進化の軌跡などの発展を表しています。



この紙は「びわ湖の森を元気にする」
kikitoペーパーを使用しています。



本誌に使われている紙は、
コープの森を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。



- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷